

事業所名

児童発達支援センター（旧難聴）
千葉市療育センター やまびこルーム

支援プログラム

作成日

令和

7年

1月

15日

法人（事業所）理念		<p>○すべての利用児をかけがえのない存在として尊重し、利用児にとって最善の利益を最優先にします。 ○利用児の人権を擁護し、自己実現を支援します。その職務を遂行する過程で知りえたプライバシーを保護します。 ○専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供します。 ○医療、保健、教育その他児童福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して児童を支援します。</p>					
支援方針		<p>（ア）医療機関と連携を取りながら、お子さんの聴力を把握します。補聴器・人工内耳を使用し、適切な補聴を行います。 （イ）聴覚を活用し、体験や遊びを通して、親子の関わりを基盤としたコミュニケーションの中から音声言語を育てていきます。 （ウ）保護者が聴覚障害を理解し、ありのままの我が子を肯定的に受け止め、子育てができるよう支援します。 （エ）地域の福祉・教育機関および医療機関と連携を持ち、児童が地域集団の中でいきいきと生活できるよう支援します。 （オ）お子さんが自らの障害を理解し、将来地域の中で自立して生きていけるよう支援します。</p>					
サービス提供時間		9時	30分から	16時	00分まで	送迎実施の有無	あり 療育時間に合わせて、事業所の最寄り駅までの送迎を行います。
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<p>○お子さんの状態に合わせて、様々な聴力検査を実施します。お子さんの聴力を把握し、補聴器・人工内耳を使用し、必要に応じて調整等を行いながら、適切な補聴を図ります。 ○医療機関と連携して聴覚管理を行うとともに、定期的な耳鼻科診察を実施し、耳、鼻、のどの健康管理を行います。</p>					
	運動・感覚	<p>○日常生活の中で、音、音声に気づき、その意味を知り、聴覚を活用しながら豊かな生活を送れるよう支援します。</p>					
	認知・行動	<p>○お子さんの状態を把握し、そのお子さんに合わせて認知・理解力の向上を図ります。集団生活の中で必要な行動調整力を育てていきます。</p>					
	言語 コミュニケーション	<p>○お子さんの興味・関心のある遊び、活動に付き合いながら、お子さんの気持ちに寄り添い、お子さんの状態に合わせたかかわりの中で、聴覚を活用してことばを育てていきます。 ○親子のかかわり、子ども同士のかかわりの中で、コミュニケーション力を育てていきます。</p>					
	人間関係 社会性	<p>○お子さんが、集団の中で生き生きと活動できるように支援します。</p>					
家族支援		<p>○保護者が障害を持つ我が子を理解し、安心して子育てができるよう支援します。 ・お子さんの家庭での様子や他機関（医療機関を含む）での状況などについて、情報共有をすると共に悩みなどの相談、助言を行います。 ・保護者同士の交流が持てるよう、保護者懇談などの時間を設けます。</p>			移行支援		<p>○幼稚園・保育所等との連携を行います。また、就学に関する情報提供などの支援を行います。 ・保護者セミナーなどを開催し、お子さんの理解を深めます。 ・併行通園先の保育園、幼稚園、療育機関と連携を図ります。 ・就学先の小学校と連携を図ります。</p>
地域支援・地域連携		<p>○地域住民のニーズの多様化に伴い、単に利用児の支援の場としてではなく、地域社会の資源としてサービスを提供します。又、ボランティア等を積極的に受け入れ地域に開かれた施設運営を目指します。 ・近隣施設（公園、商業施設など）を利用したり、保育所・幼稚園などと交流を行ったりすることで、必要な社会性等を養います。 ・必要に応じて、保育所（園）、幼稚園、学校、相談支援事業所、医療機関、他児童発達支援事業所など各関係機関と電話連携や訪問を実施します。 ・相談支援事業所に個別支援計画書を送付し、支援について共通理解を図ります。</p>			職員の質の向上		<p>○職員の資質向上のため、施設内外の研修に参加し、職員間で知識や情報を共有することにより、利用児の支援向上を図ります。（千葉県聴覚障害教育ネットワーク推進協議会（うさぎねっと）・千葉聾学校ぱんだルーム、筑波大学附属聴覚特別支援学校けやきルームとの早期支援聴覚担当者会議、横浜・さいたま・千葉児童発達支援センター（難聴）連絡協議会への参加、聴覚医学学会など、聴覚障害児教育、補聴器、人工内耳に関する研修への参加、全国盲ろう難聴児施設協議会主催の施設長研修会・職員研修会等への参加、福祉サービス苦情解決担当者研修、虐待防止研修等への参加など）</p>
主な行事等		夏まつり、クリスマス会（全体行事、家族参加可）、卒園式、内科健診（年2回）、耳鼻科検診（月1回）					